

2009年4月9日

各 位

熊本県熊本市南熊本三丁目14番3号
株式会社トランスジェニック
代表取締役社長 山村研一
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 IR・広報担当 森田貴子
電話番号 078-306-0590

Transposagen Biopharmaceuticals, Inc (アメリカ) と代理店契約を締結

株式会社トランスジェニック (代表取締役社長: 山村研一、熊本県熊本市) は、2009年4月9日、Transposagen Biopharmaceuticals, Inc (アメリカ ペンシルバニア州、CEO: Eric Ostertag, M.D., Ph.D.、以下 トランスポサジェン社) と同社の製品に関して、日本における代理店契約 (以下 本契約) を締結しましたので、お知らせいたします。

トランスポサジェン社は、トランスポゾン (可動遺伝因子) を利用した遺伝子導入技術を用いて、遺伝子破壊ラット (ノックアウトラット) を大規模、網羅的に開発し提供する米国の企業であり、多数の遺伝子破壊ラットを保有し、販売しています。

当社は最大手の総合商社との提携のもと、海外のバイオ企業の技術・製品・サービスの国内市場への導入に取り組んでまいりました。本件は、この取り組みにおける4件目の成果です。今後、本契約に基づき、当社は日本におけるトランスポサジェン社の製品についてマーケティング活動を開始します。

当社は、これまで遺伝子破壊マウス事業において、当社独自の技術である可変型遺伝子トラップ法により開発した遺伝子破壊マウス (TG Resource Bank[®], 約2700系統)、米国デルタジェン社が作製した遺伝子破壊マウス (約900系統)、遺伝子改変マウス作製受託サービスを提供してまいりました。これら、一連の遺伝子改変動物に関する製品・サービス群に新たにトランスポサジェン社の遺伝子破壊ラットが加わることにより、一層の営業シナジーが得られ、さらなる収益獲得機会の拡大に寄与するものと期待されます。トランスポサジェン社は、引き続き遺伝子破壊ラットの開発を進めており、その系統数は今後もさらに増加していく予定です。

なお、本件が当期 (平成22年3月期) の業績に及ぼす影響は軽微であります。

ご参考: Transposagen Biopharmaceuticals, Inc の概要

設立	: 2003年
本社所在地	: アメリカ合衆国 ペンシルバニア州
CEO	: Eric Ostertag, M.D., Ph.D.
主な製品・サービス	: 遺伝子破壊ラット (ノックアウトラット)
URL	: http://www.transposagen.com/

以上